

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年6月2日(2016.6.2)

【公表番号】特表2015-520978(P2015-520978A)

【公表日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-046

【出願番号】特願2015-510416(P2015-510416)

【国際特許分類】

H 04 W 88/06 (2009.01)

H 04 W 48/16 (2009.01)

H 04 W 76/04 (2009.01)

【F I】

H 04 W	88/06	
H 04 W	48/16	1 1 0
H 04 W	76/04	

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月4日(2016.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレスデバイスで複数のサブスクリプションと通信する方法であって、  
チューンアウェイモードの間第1のサブスクリプションのアクティブな呼からチューン  
アウェイして、第2のサブスクリプションを使用して通信するステップと、  
前記チューンアウェイモードの間前記第2のサブスクリプションを使用して第1のチュー  
ンアウェイ手順を実施するステップと、

前記アクティブな呼が維持されている間、前記第1のチューンアウェイ手順の前記実施  
の後で前記第2のサブスクリプションを使用して、前記チューンアウェイモードの間1つま  
たは複数の追加のチューンアウェイ手順が実施されるべきかどうかを判定するステップと  
、

前記1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順の実施を制限するように決定するス  
テップと、

前記1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順の前記実施を制限する前記決定に基  
づいて、前記チューンアウェイモードを終了し、前記アクティブな呼に対する前記第1の  
サブスクリプションの使用にチューンバックするステップと  
を含む、方法。

【請求項2】

前記チューンアウェイモードの間実施を制限する前記決定に応答して、チューンアウェ  
イタイムを開始するステップ  
をさらに含み、

前記チューンアウェイモードを終了し、前記第1のサブスクリプションの使用にチュー  
ンバックするステップが、前記チューンアウェイタイムの満了にさらに応答する、請求項  
1に記載の方法。

【請求項3】

前記チューンアウェイモードの間実施を制限する前記決定に応答して、前記チューンア

ウェイモードのチューンアウェイ周期に基づいて、前記第2のサブスクリプションへの次のチューンアウェイの発現まで、前記1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順の実施を遅らせるステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記チューンアウェイモードの間実施を遅らせるステップが、セル再選択手順、隣接セルシステム情報読み取り手順、登録手順、セル更新手順、位置更新手順、またはルーティング更新手順のうちの1つまたは複数を遅らせるステップをさらに含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記チューンアウェイモードの間アウトオブサービス状態を決定するステップと、前記決定されたアウトオブサービス状態に応答して、前記チューンアウェイモードを終了し、前記第1のサブスクリプションにチューンバックするアウトオブサービスを実施するステップとをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

複数のサブスクリプションと通信するためのコンピュータプログラムであって、チューンアウェイモードの間第1のサブスクリプションのアクティブな呼からチューンアウェイして、第2のサブスクリプションを使用して通信することをコンピュータに行わせるための少なくとも1つの命令と、前記チューンアウェイモードの間前記第2のサブスクリプションを使用して第1のチューンアウェイ手順を実施することを前記コンピュータに行わせるための少なくとも1つの命令と、前記アクティブな呼が維持されている間、前記第1のチューンアウェイ手順の前記実施の後で前記第2のサブスクリプションを使用して、前記チューンアウェイモードの間1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順が実施されるべきかどうかを判定することを前記コンピュータに行わせるための少なくとも1つの命令と、前記1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順の実施を制限するように決定することを前記コンピュータに行わせるための少なくとも1つの命令と、前記1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順の前記実施を制限する前記決定に基づいて、前記チューンアウェイモードを終了し、前記アクティブな呼に対する前記第1のサブスクリプションの使用にチューンバックすることを前記コンピュータに行わせるための少なくとも1つの命令とを備える、コンピュータプログラム。

【請求項7】

前記チューンアウェイモードの間実施を制限する前記決定に応答して、チューンアウェイタイマを開始することを前記コンピュータに行わせるための少なくとも1つの命令をさらに含み、

前記チューンアウェイモードを終了し、前記第1のサブスクリプションの使用にチューンバックすることが、前記チューンアウェイタイマの満了にさらに応答する、請求項6に記載のコンピュータプログラム。

【請求項8】

前記チューンアウェイモードの間実施を制限する前記決定に応答して、前記チューンアウェイモードのチューンアウェイ周期に基づいて、前記第2のサブスクリプションへの次のチューンアウェイの発現まで、前記1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順の実施を遅らせることを前記コンピュータに行わせるための少なくとも1つの命令をさらに含む、請求項6に記載のコンピュータプログラム。

【請求項9】

前記チューンアウェイモードの間実施を遅らせることが、セル再選択手順、隣接セルシステム情報読み取り手順、登録手順、セル更新手順、位置更新手順、またはルーティング更新手順のうちの1つまたは複数を遅らせることをさらに含む、請求項8に記載のコンピュータ

タプログラム。

【請求項 1 0】

前記チューンアウェイモードの間アウトオブサービス状態を決定することと、

前記決定されたアウトオブサービス状態に応答して、前記チューンアウェイモードを終了し、前記第1のサブスクリプションにチューンバックするアウトオブサービスを実施することと

を前記コンピュータに行わせるための少なくとも1つの命令をさらに含む、請求項6に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 1 1】

複数のサブスクリプションと通信するための装置であって、

チューンアウェイモードの間第1のサブスクリプションのアクティブな呼からチューンアウェイして、第2のサブスクリプションを使用して通信するための手段と、

前記チューンアウェイモードの間前記第2のサブスクリプションを使用して第1のチューンアウェイ手順を実施するための手段と、

前記アクティブな呼が維持されている間、前記第1のチューンアウェイ手順の前記実施の後で前記第2のサブスクリプションを使用して、前記チューンアウェイモードの間1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順が実施されるべきかどうかを判定するための手段と、

前記1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順の実施を制限するように決定するための手段と、

前記1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順の前記実施を制限する前記決定に基づいて、前記チューンアウェイモードを終了し、前記アクティブな呼に対する前記第1のサブスクリプションの使用にチューンバックするための手段とを備える、装置。

【請求項 1 2】

前記チューンアウェイモードの間実施を制限する前記決定に応答して、チューンアウェイタイマを開始するための少なくとも1つの手段をさらに備え、

前記チューンアウェイモードを終了し、前記第1のサブスクリプションの使用にチューンバックすることが、前記チューンアウェイタイマの満了にさらに応答する、請求項11に記載の装置。

【請求項 1 3】

前記チューンアウェイモードの間実施を制限する前記決定に応答して、前記チューンアウェイモードのチューンアウェイ周期に基づいて、前記第2のサブスクリプションへの次のチューンアウェイの発現まで、前記1つまたは複数の追加のチューンアウェイ手順の実施を遅らせるための少なくとも1つの手段をさらに備える、請求項11に記載の装置。

【請求項 1 4】

前記チューンアウェイモードの間実施を遅らせることが、セル再選択手順、隣接セルシステム情報読取り手順、登録手順、セル更新手順、位置更新手順、またはルーティング更新手順のうちの1つまたは複数を遅らせることをさらに含む、請求項13に記載の装置。

【請求項 1 5】

前記チューンアウェイモードの間アウトオブサービス状態を決定することと、

前記決定されたアウトオブサービス状態に応答して、前記チューンアウェイモードを終了し、前記第1のサブスクリプションにチューンバックするアウトオブサービスを実施することと

を行うための少なくとも1つの手段をさらに備える、請求項11に記載の装置。